

● 「大人になれなかった弟たちに……」での学習を振り返って、感想のもち方や考えの広げ方について考えましよう。

○ 「僕」がヒロユキのミルクを何度も盗み飲みしたことについてAからDまでの感想をもちました。これらの感想について下の問いに答えなさい。

「大人になれなかった弟たちに……」

感想

(前略)

そのころは食べ物が多分になかったため、母は僕たちに食べさせて、自分はまだあまり食べませんでした。でも弟のヒロユキには、母のお乳が食べ物です。母は自分が食べないので、お乳が出なくなりまし。ヒロユキは食べるものがないりません。おもゆといっておかゆのもっと薄いのを食べさせたり、やぎのミルクを遠くまで買に行き飲ませたりしました。

でも、ときどき配給がありました。ミルクが一缶、それがヒロユキの大切な食べ物でした……。

みんなにはとうていわからないでしょうが、そのころ、甘いものはぜんぜんなかったのです。あめもチョコレートもアイスクリームも、お菓子はなんにもないころなのです。食いしん坊だった僕には、甘い甘い弟のミルクは、よだれが出るほど飲みたいものでした。

母は、よく言いました。ミルクはヒロユキのご飯だから、ヒロユキはそれしか食べられないのだからと――。

でも、僕はかくれて、ヒロユキの大切なミルクを盗み飲みしてしまいました。それも、何回も……。

僕にはそれがどんなに悪いことか、よくわかっていたのです。でも、僕は飲んでしまったのです。僕は弟がかわいくてかわいくてしかたがなかったのですが、……それなのに飲んでしまいました。

(後略)

※この後、ヒロユキは栄養失調で死んでしまいました。

A 「僕」がヒロユキのご飯であるミルクを盗み飲みしたのは、悪いと思う。

B 「僕」は「どんなに悪いことか、よくわかっていた」のにミルクを盗み飲みしたので心の弱い人だと思いました。

C 私は食べ物がないので、「僕」が盗み飲みをしたときの気持ちを本当には理解することはできない。しかし、「かわいくてかわいくてしかたがなかった」弟が死んでしまったとき、「僕」が自分のしたことを後悔して、苦しんだことは理解できる。「僕」はとてもかわいそうだと思う。

D 食べ物が十分な時代に、おなかをすかした「僕」は、悪いと分かっているヒロユキのミルクを何度も盗み飲みした。ヒロユキが栄養失調で死んでしまったとき、「僕」は自分の犯した罪の重さに押しつぶされそうになっただろう。自分の欲望に負けて、罪を犯してしまい、かけがえのないものを失ってしまうという悲しみを、「僕」は小学校四年生で経験してしまう。どんなにつらかっただろう。戦争は、人の命を奪うだけでなく、人の心にとりかえしのつかない傷を残してしまうのだと思った。

▽次の①～④までの説明は、上のAからDまでの感想のどれについての説明ですか。あてはまる記号を() に書き入れなさい。

《感想についての説明》

《感想をもつときのポイント》

- ① (A) の感想は、「僕」がヒロユキのミルクを「盗み飲み」したことについて、「僕」の年齢や置かれた状況などの条件を全く考えずに、よい悪いの判断をしている。
- ➡人物の行動について、よい悪いを判断するだけでは、感想を深めることができません。その人物の年齢や性格、置かれた状況などさまざまな条件を考えることが大切です。

- ② (B) の感想は、「どんなに悪いことか、よくわかっていた」ことと、それにもかかわらず「盗み飲み」をしたことを合わせて考えて、「僕」が「心の弱い人だ」と判断しているので、いくつかの文章の言葉を根拠にして感想を導いていると言える。
- ➡文章に書かれた言葉を根拠にして考えをまとめることは大切です。そのときには、一面だけを取り上げるのではなく、総合的に考えることができるように根拠をとらえるようにします。Bの感想は、根拠が不足している印象を受けます。

- ③ (C) の感想は、「僕」の経験と自分の経験と比較して、自分が理解できないことと理解できることを明らかにしている。その上で、「僕」に同情を寄せている。
- ➡自分の経験と照らし合わせて、共通点や相違点を明らかにすることは大切です。その上で、自分がもった感想をまとめるようにしましょう。

- ④ (D) の感想は、「僕」が生きた時代や、置かれた状況、心理的な状態などをおさえて「盗み飲み」をした事実を確認している。その結果、「かわいくてかわいくてしかたがなかった」弟が栄養失調で死んでしまったという事実は「僕」にとって自分の犯した罪の重さを突き付けられる出来事であったとしている。加えて、「僕」が経験したことを「自分の欲望に負けて、罪を犯してしまい、かけがえのないものを失ってしまった」という悲しみ」というように一般化し、自分のこととして想像しやすくして「どんなにつらかっただろう」と心情を押し量っている。最後に戦争というものが人間にとってどういうものかを書いている。
- ➡書かれた出来事を一般化して想像しやすくすることも大切です。その上で心情を押し量ったり、出来事を評価したりすると感想を深めることができます。
- ➡人物の年齢や性格、生活習慣や家族構成など、人物についての情報を読み取ることが大切です。
- ・人物像⇨年齢、性格、習慣、行動傾向：
・置かれた状況⇨歴史的状况、社会的状况
家族・友達等の人間関係：

●物語や小説などの文学的な文章を読んで感想をもつときに気を付けることを次の2つにまとめ、「少年の日の思い出」を読んで感想を交流する学習に取り組みましょう。

- 1 場面の展開や、心情や情景を表す言葉に注意して読み、内容の理解を深めること
- 2 感想を交流して、考えを深めること